

淡水化装置(RO2)処理水槽スキッドの 予備配管から堰内への漏えいについて

平成27年10月29日
東京電力株式会社

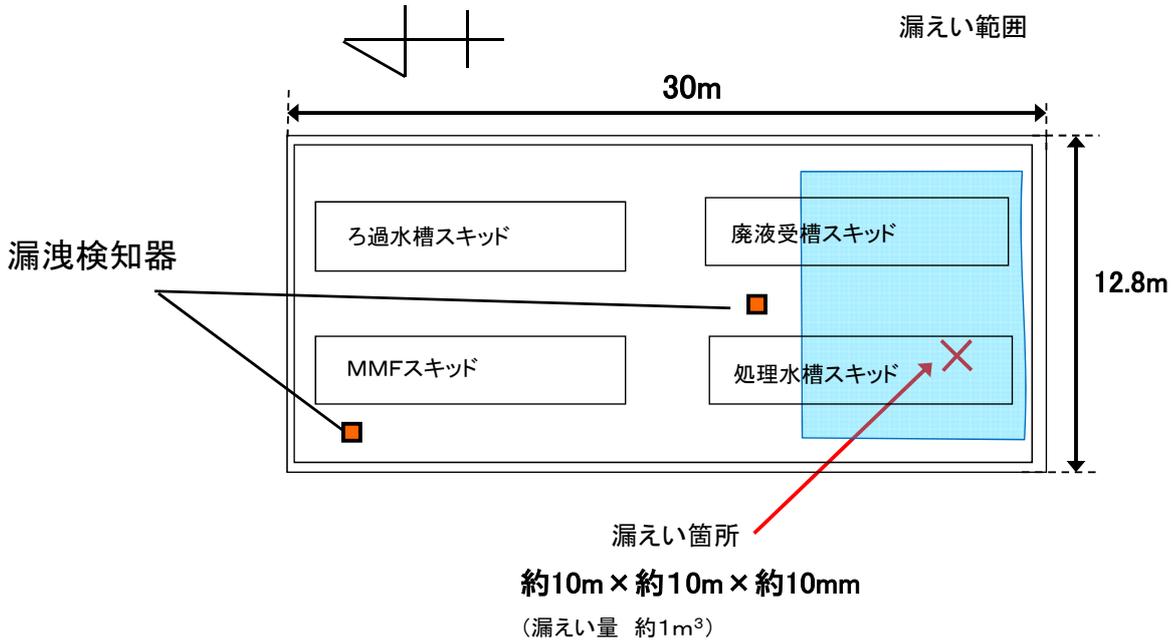
事象の概要

【概要】

- 日時: 2015年10月19日7時36分頃
- 場所: 淡水化装置(RO2)蛇腹ハウス内
- 漏えい箇所: RO2処理水移送ポンプ吐出配管付近
- 状況:
 - 7:36 CCRにて「ROユニット2異常」警報を確認。
 - 7:55 現場にてRO2処理水移送ポンプ吐出配管に接続している薬品注入用予備配管が損傷し、漏えいしていることを確認。
直ちに運転中のRO2-5を停止。
 - 8:10 隣接弁(V244, V246)の閉操作を行い、漏えいの停止を確認。
 - 14:05 漏えい水の回収、周辺の拭き取り完了。
- 漏えい量: 約1m³
- 漏えい範囲: 約10m×約10m×約10mm
- 漏えい水の分析結果:
 - ^{134}Cs : 1.2×10^2 Bq/L
 - ^{137}Cs : 4.3×10^2 Bq/L
 - 全 β : 1.7×10^4 Bq/L

淡水化装置(RO2)漏えい箇所

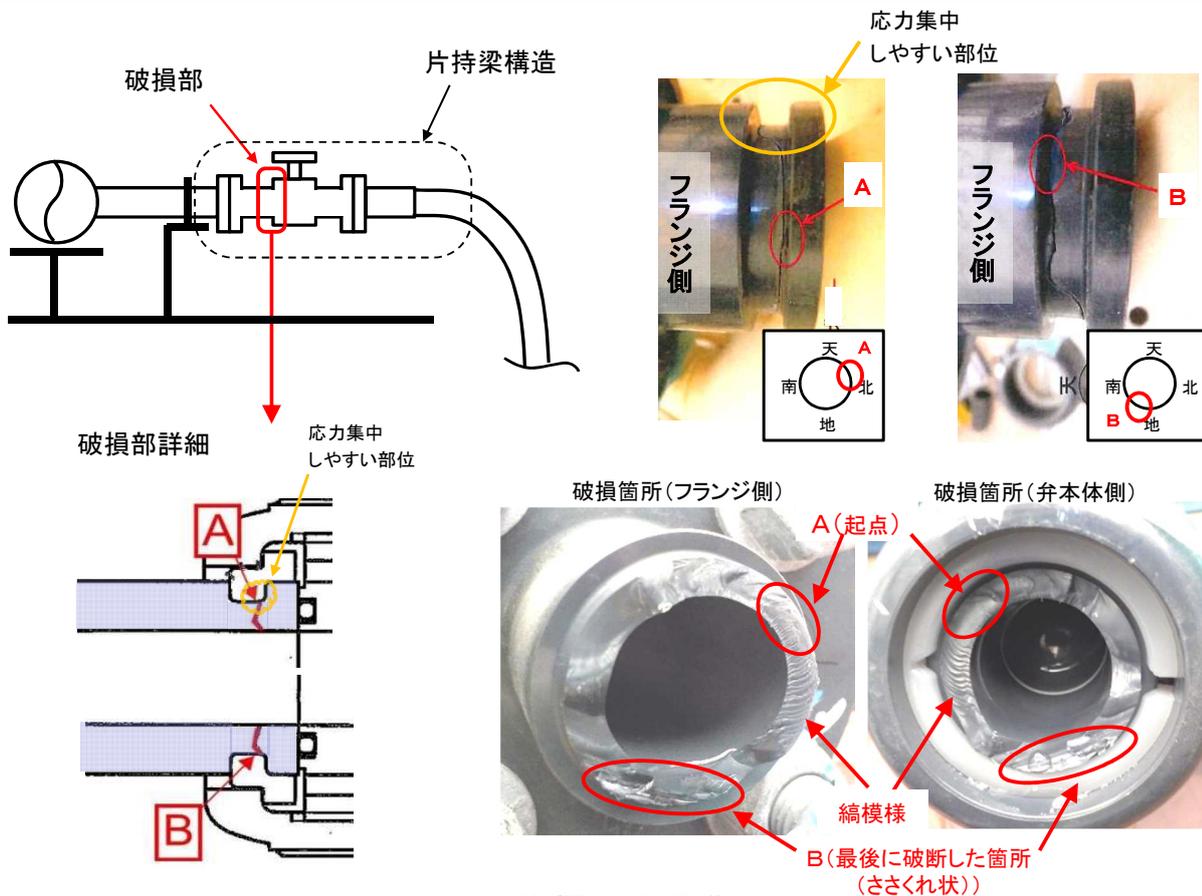
■ 淡水化装置(RO2)ジャバラハウス



5

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

破損箇所詳細



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

6

推定原因及び対策

【破損部の調査結果及び推定原因】

- 破面の状況からA部の位置が疲労き裂の起点であり、下端のささくれ状(B部)が最後に破断した部分と推定される。
- なお、A部からB部までの破面に疲労破壊の特有の縞模様が存在していることから疲労破壊と推定される。



【対策】

- 当該予備配管は今後使用する予定がないことから、撤去し閉止した後、通水漏えい試験により健全性を確認した。



- RO設備の塩化ビニール配管について目視点検を行う。